

佐用町では、森林環境譲与税を活用して、

- 森林所有者の森林経営計画への参加を促進して、間伐施業地の拡大を図りました。
- 原木の集出荷施設「木材ステーションさよう」の設置により、住民による里山林等の森林整備を促進しました。
- 町行造林地の整備を行い、森林整備を推進しました。
- 西播磨山城復活プロジェクトにおいて伐採した伐採木の製材を行い、広葉樹の付加価値を高める実証を行いました。
- 航空レーザー測量にて、森林資源量等をはじめとする森林資源の解析や状況調査を行いました。
- 令和元年度に行った森林所有者（森林組合員）への意向調査に基づいて、「佐用町森林ビジョン」を策定しました。

□ 事業内容

1 森林保全間伐促進事業

- ・ 森林経営計画により間伐を実施した森林所有者に対して、間伐面積1haにつき5万円を補助しました。

【事業費】5,023千円（全額譲与税）

【実績】102.7haの間伐が実施できました。

2 森林資源活用事業

- ・ 未利用木材の利活用及び住民による森林整備の促進のために設置した原木集出荷施設「木材ステーションさよう」を運営し、原木買取に1tあたり3,000円の地域商品券を上乗せしました。

【事業費】969千円（全額譲与税）

【実績】233.87tの原木の出荷がありました。



（事業1：間伐施業地）



（事業2：原木搬入の様子）

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	34,584千円
②私有林人工林面積（※1）	9,989.95ha
③林野率（※2）	81.0%
④人口（※3）	17,510人
⑤林業就業者数（※4）	18人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

3 町行造林（改植・保育）事業委託料

- 財源不足により、手入りが不十分であった町行造林の間伐事業を実施しました。
【事業費】1,603千円（うち譲与税902千円）
【実績】13.3haの間伐を実施しました。

4 広葉樹活用事業

- 広葉樹の高付加価値化と有効活用の検証のため、西播磨山城復活プロジェクトにて伐採された上月城跡の支障木（アラカシ・ケヤキ）を製材し、その材料を用いた作品製作を、工房に依頼しました。
【事業費】110千円（全額譲与税）
【実績】5㎡の板材を製材しました。



（事業4：製材された上月城跡の伐採木）

5 森林管理システム基礎データ整備事業

- 森林整備事業の促進のために森林情報を精緻化するため、航空レーザー測量の実施による森林資源量等をはじめとする森林資源の解析や状況調査を行いました。
【事業費】36,300千円（うち譲与税23,595千円）
【実績】航空レーザー測量にて24,000ha測量しました。

6 森林ビジョン策定事業

- 今後、町が進めるべき森林行政の指針として活用するため、「佐用町森林ビジョン」を策定しました。
【事業費】3,985千円（全額譲与税）
【実績】「佐用町森林ビジョン」を策定し、町ホームページに公開しています。



（事業6：佐用町森林ビジョン）